

平成23年度 第1回安曇野市介護保険等運営協議会 会議概要

- 1 審議会名.....平成23年度第1回安曇野市介護保険等運営協議会.....
- 2 日 時.....平成23年8月22日 午後1時 から午後2時40分まで.....
- 3 会 場.....穂高健康支援センター集団指導室.....
- 4 出席者.....須澤運営協議会会長、丸山好夫運営協議会副会長、松井委員、山田委員、松嶋委員、石田委員（松本保健福祉事務所北原さん代理出席）、丸山三恵子委員、有賀委員、高山委員、細川委員.....
- 5 市側出席者.....務台健康福祉部長、等々力高齢者介護課長、等々力介護保険係長、曾根原高齢者福祉係長、宮下介護予防係長、西澤（事務局担当者）.....
- 6 公開・非公開の別.....公開.....
- 7 傍聴人.....0人.....記者.....1人.....
- 8 会議概要作成年月日.....平成23年8月24日.....

協 議 事 項 等

1 会議の概要

進 行 （等々力高齢者介護課長）

- (1) 開 会（等々力課長）
- (2) あいさつ（務台部長、須澤会長）
- (3) 会議事項（進行及び座長 須澤会長）
- (1) 高齢者実態調査結果（概要）報告

- ①元気高齢者・特定高齢者の実態調査について 曾根原高齢者福祉係長 資料1
安曇野市の高齢者福祉計画及び第5期介護保険事業計画策定の為平成22年12月～平成23年1月に行われた調査結果の内元気高齢者調査の概要について説明がなされた。
- ②居宅要介護・要支援認定者等実態調査について 西澤（調査担当者） 資料2 資料3
要介護認定を受けている在宅者への調査内容の概要について県の資料と比較しながら説明が行われた。
- (2) 老人福祉計画の実施状況について 曾根原高齢者福祉係長 資料4
平成22年度の実施状況について、計画の数値と比較しながら説明がなされた。
- (3) 介護保険及び介護保険事業計画の実施状況について 西澤（給付、計画担当者） 資料5
平成22年度の計画の実施状況及び平成23年6月までの認定者数及び給付の状況について説明がなされた。
- (4) 地域包括支援センター業務実績（概要）について 宮下介護予防係長 資料6
平成22年度の地域包括支援センター業務実績の概要について説明がなされた。

質疑①

- 問) 介護高齢者の調査について当事者が記入できないものは家族が記入していると思うがどの程度の記入率か。また地区毎では、むらなく回収できているか。
- 答) 家族の記入率については、データとしてあるが、現在手元に資料をもっていない。回収状況については、むらなく回収がされている。
- 問) 成年後見支援センターができたが、受付はセンターのみか。
- 答) まず、市の窓口で受けてからセンターに申し込む形式をとっている。
- 問) 実態調査について3年前にも同様の調査をしているようであるが、そのデータを比較することはできるのか。
- 答) 前回（3年前）の調査と同様のか似通った調査内容があり比較できる物もあります。5期の計画時の参考資料としても活用していきたい。
- 問) 施設サービスの希望状況や不十分なサービスの傾向の動向は重要な資料となりうる内容なので、参考にしていきたい。
- 問) 元気高齢者は無作為に抽出したとおもうが、地域ごとの状況をつかんで分析する必要があるのではないか。買物弱者への福祉バスの活用などどのように分析していくのか。
- 答) 全体をとおして、高齢者の福祉環境の状況として分析をしてゆく。認定者調査については、地区毎のデータをとってあるので、地区特性について分析を考えている。

- (5) 老人福祉計画・第5期介護保険事業計画策定について 西澤（計画担当）

- ①第5期介護保険計画介護保険事業者等意向調査について 資料7
- ②第5期介護保険計画の指針及び保険料について 資料8 資料9
- ③第5期介護保険計画の日程について 資料10 資料11

第5期介護保険事業計画の事業者への意向調査の結果報告が行われた。また第5期の介護保険事業計画について国及び県から示された内容を基に、計画策定の概要、保険料の設定方法、今後の日程について説明が行われた。

協 議 事 項 等

質疑②

問) 安曇野市の人口推計について、高齢者のピークなどどのようにつかんでいるのか。また市全体ではなく、地区毎に不足しているものを分析しその上での地域包括ケアの推進だと考えるが、現段階での構想をどのように考えているのか構想があれば提示していただきたい。

答) 現時点では、分析及び係間での計画立案を行いつつ最中ですので、次回お示ししたいと考えております。

(6) その他

事務局より安曇野市介護保険事業者の選定方法の検討について公平性の確保と算定したサービス提供を目的に公募方式の導入、選定基準の策定、選定委員会の設置等検討していきたい旨ご承認いただけるかとの提案がされ承認された。

全体を通しての質疑

問) 成年後見について、安曇野市内施設入所者等の他保険者の住所地特例適用者についてはどのように扱うのか、また市ではどのように考えているか。

答) まだ事例がないが、住所地特例と同様の扱いだと考えている。

問) 公募とのことだが、今までとどのように違うのか。圏域ごとに募集行うのか、またどういった圏域になるのか。

時期は、計画策定後か。

答) 公募については主に市が指定する地域密着型施設についてを考えているが、県で指定する事業についても、計画上の施設といった位置づけで、検討していきたい。募集は計画策定後から行い、圏域については現在の日常圏域毎に計画を行うのでそれに沿って考えている。但し、圏域内でも地域性が異なる事もあるので、計画の段階でそういった内容も踏まえて検討していきたい。

問) 今回第4期の実施状況の資料を提示していただいているが、うまく状況がつかめないの、その辺も考慮して計画の際の資料は、作成していただきたい。

答) 特徴が分かる資料を作成し計画説明時にお示ししたい。

4. 閉 会 (丸山副会長)

※この記録に記載されている資料につきましては、健康福祉部高齢者介護課介護保険係にて閲覧をすることができます。

※会議概要は、原則として公開します。会議終了後、2週間以内に企画財政部まちづくり推進課へ提出してください。※会議を非公開又は一部非公開とした場合は、その理由を記載してください。